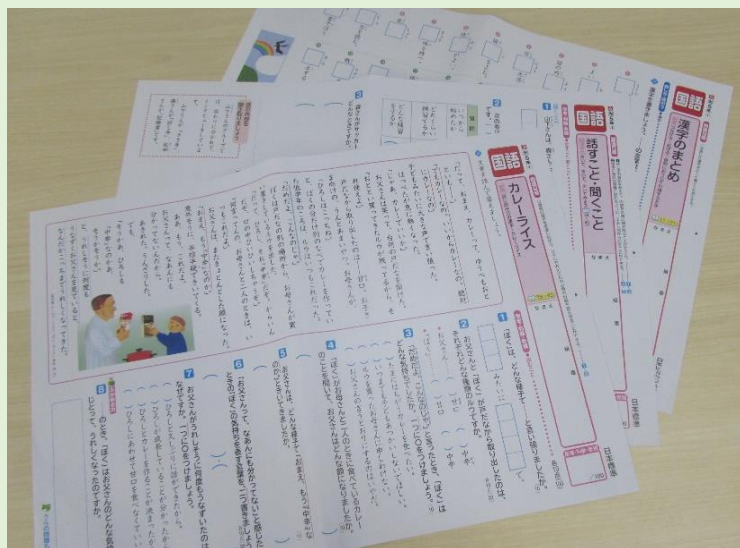


経営課題 2 子ども

現状	課題	R 3 年度 取組	R 3 年度 実績	R 3 年度 評価	R 4 年度 取組
児童・生徒の学力が大阪市平均以下	学習時間の向上 学習機会の提供	単元テストの実施	単元テストの実施と学期毎に結果のフィードバックを実施（区内全 8 小学校）	学習習慣が確立されている児童・生徒の割合： 60.7% 〔コロナ禍により減〕 R2年度： 75.7% ⇒ 目標未達成となるも概ね順調に推移	単元テスト分析ツール内の苦手克服プリントの実施や学力判定機能を活用した保護者への開示等を実施（年度当初より実施）
		令和 2 年度までの時限事業として実施してきた自主学習ルームを 1 年延長実施	「CoCoチャレンジルーム事業」として区内小学校で放課後自主学習を実施 （コロナ禍の影響で一部の小学校にて休止期間あり）	当初の目標「小学生の授業以外の勉強時間が1時間未満の割合」が大阪市平均（ 47.3% ）に到達： 46.8% ⇒ 目標達成	目標達成により R 3 年度をもって時限事業を廃止 ただし、今後も区内小学校での学習状況を注視し、必要とされる施策を検討していく
将来の夢や目標を持つ割合が大阪市平均以下	児童・生徒が将来の夢や目標をもてるような体験の機会の提供	職業体験・職業講話の実施	職業体験・職業講話の継続実施（区内全 3 中学校）	職業体験・職業講話メニューを活用した学校の割合： 100% ⇒ 順調に推移	児童・生徒の職業観育成のための職業体験・職業講話の実施 （2 学期以降順次実施）
課題解決に向けて取り組む割合が大阪市平均以下	課題解決学習グループワークへの積極参加	ロボットを活用した課題解決学習の実施	四貫島小・伝法小・梅香小・春日出小にてロボットを活用した課題解決学習を実施	課題解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいたと思う割合： 71.0% ⇒ 順調に推移	区内全 8 小学校にてロボットを活用した課題解決学習の実施 （1 学期より実施）

令和4年度 此花区での教育支援の取組み

単元テストの実施



キャリア教育 (職業体験・職業 講話等) の実施



ロボットを活用した課題解決学習の実施

